

# フジコ・ヘミング & ブダペスト・フィルハーモニー管弦楽団

魂のピアニストとハンガリー最高峰オーケストラによる、豪華共演!

*Ingrid Fuzjiko Hemming &  
Budapest Philharmonic Orchestra*



指揮:マリオ・コシク

©中島英雄

演奏予定曲目

リスト:ピアノ協奏曲第二番

リスト:ラ・カンパネラ

ベートーヴェン:交響曲第三番「英雄」

※曲目は変更になる可能性がございます。予めご了承ください。

11/21 (火) 開演19:00 (開場18:30) 東京芸術劇場 コンサートホール

S席¥12,000/A席¥10,000/B席¥8,000/C席¥6,000 (税込) ※未就学児童入場不可

主催・企画制作:コンサート・ドアーズ/サンライズプロモーション東京/TOKYO FM

チケット発売日

8/27 (日) 10:00AM

- チケット発売所
- コンサート・ドアーズ 03-3544-4577 (平日10:00~18:00) ●楽天チケット <http://ticket.rakuten.co.jp/> ※楽天スーパーポイントがたまる!
  - サンライズプロモーション東京 0570-00-3337 ●サンライズオンライン <http://sunrisetokyo.com>
  - 東京芸術劇場 0570-010-296 (10:00~19:00 休館日除く)  
[PC]<http://www.geigeki.jp/t/> [携帯]<http://www.geigeki.jp/i/t/>+劇場窓口(10:00~19:00 休館日除く)
  - チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:340-982]・<http://pia.jp/t/>
  - ローソンチケット 0570-084-003 [Lコード:32530]・0570-000-407 (オペレーター対応)・<http://l-tike.com/>+ローソン・ミニストップ店内Loppi
  - CNプレイガイド 0570-08-9999 (オペレーター対応)・0570-08-9990 (クラシック専用オペレーター) ●e+(イープラス) <http://eplus.jp>

お問合せ コンサート・ドアーズ 03-3544-4577 (平日10:00~18:00) / サンライズプロモーション東京 0570-00-3337 (全日10:00~18:00)



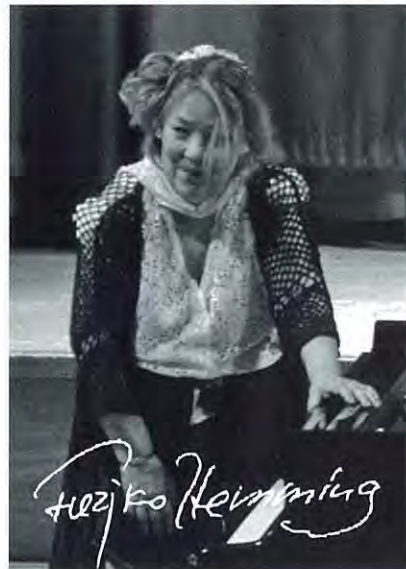
# フジコ・ヘミング

Ingrid Fuzjko Hemming

スウェーデン人建築家ジョスタ・ゲオルギー・ヘミングと日本人の母とを両親としてベルリンに生まれる。母の指導で幼い頃からピアノを始めた。10歳の時、レオニード・クロイツァーにつき多大な影響を受ける。その時クロイツァーは彼女が将来世界中の人々を魅惑するピアニストになるだろうと予言をしていた。

青山学院・東京芸術大学をへて、NHK毎日コンクール受賞、日本フィルなど数多くのオーケストラと競演、来日中のサムソン・フランソワはフジコのショパンとリストを聴き絶賛。その後、ベルリン国立音楽学校を首席で入学。その後、ウィーンに移り、後見人でもあったパウル・バドゥラ＝スコダに師事。今世紀最大の作曲家、指揮者の一人といわれるブルーノ・マデルナにウィーンで才能を認められ、彼のソリストとして契約したことは彼女が最も誇りとしているところのひとつである。ちなみにこの成約に際しては、彼女の演奏に感銘を受けたレナード・バーンスタインからの支持、援助があった。1968年ドイツの"Die Welt"誌は「ショパンとリストを弾くために生まれてきたピアニスト」、「日本から新しいピアニストが出た」と報じている。そして、フジコ・ヘミングはウィーンでの演奏会直前に聴力を失う。1999年NHKで放映されたETV特集「フジコ～ピアニストの軌跡」は大反響を呼び、再放送の回数を重ねた。デビュー・アルバム「奇跡のカンパネラ」はクラシック界では異例の300万の大ヒットとなる。4回のゴールド・ディスク大賞などは前代未聞である。

現在ロイヤル・フィル、モスクワ・フィル、ハンガリーフィル、イングリッシュ・チェンバー・オーケストラ、ミュンヘン管弦楽団などと国内外で共演を続けている。また彼女は音楽活動のみにとどまらず、米国同時多発テロ後の被災者救済のために年間CDセールス印税全額寄付やアフガニスタン難民のためのチャリティー活動、特に動物愛護へ深い関心を持ち、援助を長年つづけている。



## ハプスブルグ家の名門

# ブダペスト・フィルハーモニー管弦楽団

Budapest Philharmonic Orchestra



ブダペスト・フィルハーモニー管弦楽団は「ハンガリー・オペラの父」フェレンツ・エルケルによって1853年に創立。30年後にハンガリー国立歌劇場が完成すると、オペラ公演の際はピットに入り、それ以外の日にコンサートを行うという活動のパターンが出来上がりました。このようにオペラ座管弦楽団の選抜メンバー（全楽団員200人中の120人）が「フィルハーモニー」を名乗って活動しているのは、世界でもこのブダペスト・フィルとウィーン・フィルしかありません。創立以来、リスト、ブラームス、マーラー、バルトーク、コダーイ、R.シュトラウスなどの作曲家が指揮またはソリストとして登場、またニキシュ、ワルター、セル、メンゲルベルク、クレンペラーといった大物指揮者も登壇してきました。中でも、ハンガリー国立歌劇場の芸術監督在任だったマーラーが交響曲第1番「巨人」を自らの指揮で初演していることは特筆されます。戦後はエーリヒ・クライバー、シェルヘン、バーンスタイン、フリッチャイ、フェレンツェクなど、内外の著名な指揮者を次々と迎え、今もその歴史と伝統を守りながら精力的な活動を続けています。